



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう



マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう

新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和 3 年 7 月 8 日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和 3 年 8 月 3 日 (火) からオーダー開始します。

禁忌改訂のお知らせ

※改訂部抜粋 下線部改訂

◎クロザリル錠 25 mg、100 mg (一般名: クロザピン) <治療抵抗性統合失調症治療薬> ※臨時採用医薬品

【禁忌】CPMSで定められた血液検査の中止基準により本剤の投与を中止し、CPMSで定められた再投与検討基準に該当しない患者 [無顆粒球症が発現するおそれがある。]

効能・効果、用法・用量追加・改訂のお知らせ

◎セルセプトカプセル 250 (一般名: ミコフェノール酸モフェチル) <免疫抑制剤>

【効能・効果】造血幹細胞移植における移植片対宿主病の抑制

【用法・用量】成人: ミコフェノール酸モフェチルとして 1 回 250~1, 500 mg を 1 日 2 回 12 時間毎に食後経口投与する。年齢、症状により適宜増減するが、1 日 3, 000 mg を上限とし、1 日 3 回食後経口投与することもできる。

小児: ミコフェノール酸モフェチルとして 1 回 300~600 mg/m² を 1 日 2 回 12 時間毎に食後経口投与する。年齢、症状により適宜増減するが、1 日 2, 000 mg を上限とする。

オーダー開始のお知らせ

オーダー開始日	薬剤名
2021. 6. 24	ゾルゲンスマ点滴静注

販売中止のお知らせ

◎イミグラン注 3 (一般名: スマトリプタンコハク酸塩) <5-HT_{1B/1D}受容体作動型片頭痛治療剤>

販売中止時期: 2021 年 12 月頃 経過措置期間満了日: 2022 年 3 月 31 日 (予定)

◎ザンタック注射液 50 mg (一般名: ラニチジン塩酸塩) <H₂受容体拮抗剤>

販売中止時期: 出荷停止中 経過措置期間満了日: 2022 年 3 月 31 日 (予定)

※在庫状況により販売中止時期が変動することがあります。

包装変更等のお知らせ

◎アコアラン静注用 600、1800(一般名:アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え))<血液凝固阻止剤>

貯法の変更: 遮光下、禁凍結、25℃以下→室温保存

◎イソピスト注 300(一般名:イオトロラン)<非イオン性 子宮卵管・関節造影剤>

使用期限の変更: 5年→3年

◎ウトロゲスタン腔用カプセル 200 mg(一般名:プロゲステロン)<天然型黄体ホルモン製剤>

添加物の変更: ラッカセイ油→ヒマワリ油

◎ハルシオン 0.25 mg 錠(一般名:トリアゾラム)<睡眠導入剤>

シートの変更: SP包装→PTP包装

適正使用のお願い

◎ラミクタール錠25 mg、100 mg、小児用2 mg、小児用5 mg(一般名:ラモトリギン)<抗てんかん剤、双極性障害治療薬>

※小児用2 mgは院外専用医薬品

ラミクタール錠の投与により重篤な皮膚障害があらわれることがあり、2015年2月に安全性速報(ブルーレター)を発行し、添付文書の「使用上の注意」の改訂を実施しました。安全性速報(ブルーレター)の発行以降、重篤な皮膚障害を発現した症例の報告数は近年では減少しているものの、用法及び用量の不遵守症例及び皮膚障害発現から本剤投与中止まで時間を要した症例は、少数ながら報告されております。

本剤の投与に際しましては、引き続き以下の通り適正使用の徹底をお願いいたします。

✓ 用法・用量を遵守してください

- 併用薬により用法・用量が異なります。
- 一定の期間をかけて増量する必要があります。
- 本剤の投与中止後に再開する必要がある場合は、開始量に注意してください。いかなる理由で投与を中止した患者においても、再開時は維持用量より低い用量からの漸増が必要です。

✓ 皮膚障害が発現した場合、ただちに投与を中止し、皮膚科専門医に相談してください

重篤な皮膚障害の初期症状としては、以下のものがあります。

- 発疹 ○目の充血 ○咽頭痛 ○口唇・口腔内のただれ
- 発熱(38℃以上) ○全身倦怠感 ○リンパ節腫脹

✓ 患者さんへ重篤な皮膚障害についての服薬指導を行ってください

- 重篤な皮膚障害などの副作用が出る場合があること。
- 皮膚障害の初期症状が出たらすぐに受診すること。
- 用法・用量を守ること。

◎ワントラム錠100 mg(一般名:トラマドール塩酸塩)<持続性がん疼痛・慢性疼痛治療剤>

本剤につきまして、分割、粉砕、かみ砕くなど誤った方法にて投与・服用したとの情報が複数あり、その情報の中には誤った服用方法との関連が否定できない重篤な副作用(意識消失、呼吸困難)も報告されております。

本剤は徐放性製剤であることから、急激な血中濃度の上昇による重篤な副作用の発現を避けるため、服用に際して割ったり、砕いたり、かみ砕いたりしないことを添付文書及び適正使用ガイド、患者向指導箋などの資材にて、注意喚起しております。

下記事項を確認いただき、誤った方法にて投与されないよう注意いただくとともに、患者さんへの服薬指導の徹底をお願いいたします。

- 本剤は、速放性をもつ周辺部分と、徐放性を持つ中心部分の二重構造による徐放性製剤です。
- 本剤を分割・粉砕したり、かみ砕いて服用すると急激に血中濃度が上昇し、重篤な副作用が発現する恐れがあります。
- 患者さんには、割ったり、かみ砕いたりせずに、そのまま服用するよう、別途新たに作成しております患者向け資材(ワントラム錠を服用される方へ)も活用の上、服薬指導の徹底をお願いいたします。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 383

★MID-NET について

医療情報データベースの一つである「MID-NET」(Medical Information Database NETwork) については、ビッグデータの活用による医薬品等の安全対策の高度化の推進を目的として、PMDAが医薬品医療機器総合機構法に基づく業務の一環として管理・運営を実施してまいりました。MID-NETは、全国10 拠点の協力医療機関と連携し、530 万人を超える規模の医療情報(電子カルテデータ、レセプトデータなど)を収集・解析することが可能であり、行政・製薬企業・アカデミアによる利活用が行われ、安全対策措置を検討する上で利活用結果が活用されています。本稿では、本格運用の開始(平成30年4月1日)から3年が経過したMID-NETのこれまでの取組や今後の展開について、ご紹介します。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>) 又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 300 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

<p>ジクロフェナクエタールヒアルロン酸ナトリウム(ジョイクル関節注)</p>	<p>★警告：新設 本剤投与により重篤なショック、アナフィラキシーが発現することがあるので、本剤は、緊急時に十分な対応のできる準備をした上で投与し、投与後も十分な観察を行うこと。</p> <p>★重要な基本的注意：追記 本剤投与により重篤なショック、アナフィラキシーが発現することがあるので、投与に際しては、緊急処置を取れる準備をすること。投与中及び投与後は患者の状態を十分に観察すること。 また、ショック、アナフィラキシーが発現する可能性があること、及びその徴候や症状について患者又は家族等に十分に説明し、異常が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するよう、患者等を指導すること。</p>
<p>クサビゾン(クサリル錠) ※臨時採用医薬品</p>	<p>※禁忌：一部改訂 CPMS で定められた血液検査の中止基準により本剤の投与を中止し、CPMS で定められた再投与検討基準に該当しない患者[無顆粒球症が発現するおそれがある。]</p> <p>※重要な基本的注意：一部改訂 8.2.4 白血球数が3,000/mm³未満又は好中球数が1,500/mm³未満を示した場合(下表③の範囲)は、直ちに本剤の投与を中止した上で、CPMS で定められた血液内科医等に連絡し、下表①の範囲に回復するまで血液検査を毎日行い、少なくとも回復後4週間までは血液検査を週1回以上行うとともに感染の徴候(発熱、咽頭痛等の感冒様症状等)を注意深く観察し、感染予防をするなど適切な処置を行うこと。</p> <p>8.2.5 白血球数及び好中球数が下表③の範囲に減少することにより本剤の投与を中止した場合には、投与中止後に回復してもCPMS で定められた再投与検討基準に該当しない限り本剤を再投与してはならない。再投与の可否についてはCPMS で定められた血液内科医等に相談すること。なお、再投与を行う場合、再投与開始から26週間は週1回の血液検査を行うこと。また、条件を満たした場合には、26週以降は2週に1回、再投与開始から52週以降は4週に1回の血液検査とすることができる。本剤の再投与後、短期間で白血球減少症、好中球減少症が再発したとの報告がある。</p> <p>8.2.7 最初の26週間の白血球数及び好中球数が下記のいずれかであり、かつ血液障害以外の理由による中断が1週間未満の場合には、その後の血液検査は中断前の頻度で行うことができる。ただし、1週間以上の投与中断があった場合には、投与再開より26週間は血液検査を週1回行うこと。なお、条件を満たした場合には、26週以降は2週に1回、投与再開から52週以降は4週に1回の血液検査とすることができる。</p> <p>・下表①の範囲を維持 ・白血球数が4,000/mm³未満3,500/mm³以上かつ好中球数が2,000/mm³以上となったが下表①の範囲に回復</p>

成分名（薬品名）	主な改訂内容																		
	<p>表) 本剤投与開始基準及び本剤投与中の検査頻度と中止基準</p> <table border="1" data-bbox="392 141 1453 846"> <thead> <tr> <th data-bbox="392 141 459 219"></th> <th data-bbox="459 141 632 219">白血球数 (/mm³)</th> <th data-bbox="632 141 804 219">好中球数 (/mm³)</th> <th data-bbox="804 141 1453 219">処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="392 219 459 629">①</td> <td data-bbox="459 219 632 629">4,000 以上かつ 2,000 以上</td> <td data-bbox="632 219 804 629"></td> <td data-bbox="804 219 1453 629">投与開始可能。 投与継続可能。 投与開始から最初の 26 週間は血液検査を週 1 回行うこと。なお、条件を満たした場合には、<u>26 週以降は 2 週に 1 回、投与開始から 52 週以降は 4 週に 1 回の血液検査とすることができる。</u>ただし、2 週に 1 回又は 4 週に 1 回の血液検査に移行した後、4 週間以上の投与中断があった場合には、<u>投与再開から 26 週間は週 1 回の血液検査を行うこと。</u>なお、条件を満たした場合には、<u>26 週以降は 2 週に 1 回、投与再開から 52 週以降は 4 週に 1 回の血液検査とすることができる。</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="392 629 459 707">②</td> <td data-bbox="459 629 632 707">3,000 以上 4,000 未満又は 1,500 以上 2,000 未満</td> <td data-bbox="632 629 804 707"></td> <td data-bbox="804 629 1453 707">①の範囲に回復するまで血液検査を週 2 回以上行い、注意しながら投与継続可能。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="392 707 459 846">③</td> <td data-bbox="459 707 632 846">3,000 未満又は 1,500 未満</td> <td data-bbox="632 707 804 846"></td> <td data-bbox="804 707 1453 846">直ちに投与を中止し、①の範囲に回復するまで血液検査を毎日行い、十分な感染症対策を行う。少なくとも回復後 4 週間までは血液検査を週 1 回以上行うこと。</td> </tr> </tbody> </table> <p>8.3 好酸球増多症の報告があるので、好酸球数が 3,000/mm³ 以上を示した場合には投与を中止することが望ましい。異常が認められた場合には、<u>CPMS で定められた血液内科医等に相談するなど、適切な処置を行うこと。</u>なお、投与再開は好酸球数が 1,000/mm³ 未満に回復した場合にのみ行うこと。</p> <p>8.4 血小板減少症の報告があるので、血小板数が 50,000/mm³ 未満を示した場合は投与を中止することが望ましい。異常が認められた場合には、<u>CPMS で定められた血液内科医等に相談するなど、適切な処置を行うこと。</u></p> <p>※合併症・既往歴等のある患者：追記</p> <p>9.1.3 <u>CPMS で定められた血液検査の中止基準により、本剤の投与を中止したことがある患者（CPMS で定められた再投与検討基準に該当しない患者を除く）</u> <u>無顆粒球症が発現するおそれがあるため、CPMS で定められた血液内科医等との連携のもとで投与を行うこと。</u>CPMS で定められた血液検査の中止基準により中止した後に再投与した患者では、<u>無顆粒球症を含む血球減少関連の事象が初回投与時と比較し早期に再発し、重症例が多かったとの報告がある。</u></p> <p>9.1.4 <u>無顆粒球症又は重度の好中球減少症の既往歴のある患者</u> <u>CPMS で定められた血液内科医等との連携のもとで投与を行うこと。</u>無顆粒球症が発現するおそれがある。</p>				白血球数 (/mm ³)	好中球数 (/mm ³)	処置	①	4,000 以上かつ 2,000 以上		投与開始可能。 投与継続可能。 投与開始から最初の 26 週間は血液検査を週 1 回行うこと。なお、条件を満たした場合には、 <u>26 週以降は 2 週に 1 回、投与開始から 52 週以降は 4 週に 1 回の血液検査とすることができる。</u> ただし、2 週に 1 回又は 4 週に 1 回の血液検査に移行した後、4 週間以上の投与中断があった場合には、 <u>投与再開から 26 週間は週 1 回の血液検査を行うこと。</u> なお、条件を満たした場合には、 <u>26 週以降は 2 週に 1 回、投与再開から 52 週以降は 4 週に 1 回の血液検査とすることができる。</u>	②	3,000 以上 4,000 未満又は 1,500 以上 2,000 未満		①の範囲に回復するまで血液検査を週 2 回以上行い、注意しながら投与継続可能。	③	3,000 未満又は 1,500 未満		直ちに投与を中止し、①の範囲に回復するまで血液検査を毎日行い、十分な感染症対策を行う。少なくとも回復後 4 週間までは血液検査を週 1 回以上行うこと。
	白血球数 (/mm ³)	好中球数 (/mm ³)	処置																
①	4,000 以上かつ 2,000 以上		投与開始可能。 投与継続可能。 投与開始から最初の 26 週間は血液検査を週 1 回行うこと。なお、条件を満たした場合には、 <u>26 週以降は 2 週に 1 回、投与開始から 52 週以降は 4 週に 1 回の血液検査とすることができる。</u> ただし、2 週に 1 回又は 4 週に 1 回の血液検査に移行した後、4 週間以上の投与中断があった場合には、 <u>投与再開から 26 週間は週 1 回の血液検査を行うこと。</u> なお、条件を満たした場合には、 <u>26 週以降は 2 週に 1 回、投与再開から 52 週以降は 4 週に 1 回の血液検査とすることができる。</u>																
②	3,000 以上 4,000 未満又は 1,500 以上 2,000 未満		①の範囲に回復するまで血液検査を週 2 回以上行い、注意しながら投与継続可能。																
③	3,000 未満又は 1,500 未満		直ちに投与を中止し、①の範囲に回復するまで血液検査を毎日行い、十分な感染症対策を行う。少なくとも回復後 4 週間までは血液検査を週 1 回以上行うこと。																
伏キス [®] マブ [®] （遺伝子組換え）（トル皮下注オートインジェクター）	<p>※重大な副作用：追記</p> <p>11.1.5 <u>間質性肺炎</u> <u>間質性肺炎が報告されているので、咳嗽、呼吸困難、発熱等が認められた場合には、速やかに胸部 X 線、胸部 CT、血清マーカー等の検査を実施すること。</u>間質性肺炎が疑われた場合には投与を中止し、<u>副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。</u></p>																		
ペム [®] ロリス [®] マブ [®] （遺伝子組換え）（キトル [®] 点滴静注）	<p>※重要な基本的注意：一部改訂</p> <p>8.4 <u>劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、硬化性胆管炎があらわれることがあるので、肝機能検査を定期的（特にアキチブ[®]との併用投与時は頻回）に行い、患者の状態を十分に観察すること。</u></p> <p>※重大な副作用：一部改訂</p> <p>11.1.6 <u>劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎</u> <u>劇症肝炎、肝不全、AST、ALT、γ-GTP、Al-P、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎があらわれることがある。</u></p>																		

＜別紙＞新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計3品目)

2021年8月3日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	エドルミス [®] 399	錠	50mg	劇	246.4	小野薬品工業	Anamorelin Hydrochloride グレルリン様作用薬 ★日本初の「がん悪液質」に対する治療薬 ★切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌のがん悪液質患者について、本剤を投与することにより、食欲が増進し筋肉量が増加し、がん患者の症状緩和と生命予後の改善が期待される 【発売:2021/4/21】
1	ジョイクル関節注 399	注	30mg	-	4394.0	小野薬品工業	Diclofenac Etalhyaluronate Sodium 関節機能改善剤 ★当院において変形性関節症に対するヒアルロン酸の関節注射剤が2剤採用されているが、いずれもNSAIDsの含有はなく単剤である(※アルツェイス [®] 関節注25mg、スベニール [®] イス [®] 関節注25mg) ★本剤は、ヒアルロン酸ナトリウム(HA)にシクロフェナク(DF)を共有結合により化学的に導入した化合物を有効成分とする製剤であり、それ自体シクロオキシゲナーゼ(COX)-2阻害活性を有しないが、関節腔内に局所投与しDFを遊離することで、持続的な消炎鎮痛作用を示す ★既存薬と異なり股関節に対する保険適応もあり、変形性股関節症に対する治療の選択肢も広がる ※安全性速報(ショック、アナフィラキシー)発出あり 【発売:2021/5/19】
1	ドブホン注0.3%シリンジ 211	注	50mL	劇 ハイリスク	589.0	テルモ	Dobutamine Hydrochloride 急性循環不全改善剤 ★手術中に投与するときは投与量を微調整(0.1ml/hr単位)する必要があるが、現在採用されているドブトックス [®] 点滴静注用600mg/200mlではシリンジ [®] に対応していないため、現在50mlシリンジに移し替えて投与している ★本剤を採用することで、シリンジ [®] で投与可能となり、利便性が向上する ※同成分先発薬:ドブトックス [®] 注射液100mg、ドブトックス [®] 点滴静注用200mg、同600mgが常備薬として採用あり、使用量の一番少ない200mg製剤を削除候補へ 【発売:2003/1/28】

⑥臨時採用医薬品(合計12品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	エムカルティ皮下注シリンジ 119	注	120mg	-	44,940.0	第一三共	Galcanezumab(Genetical Recombination) 片頭痛治療薬(ヒト化抗CGRP ϵ / κ ローナル抗体製剤) ★片頭痛発作時に発現が認められるCGRPに特異的に結合する、ヒト化抗CGRP ϵ / κ ローナル抗体 ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2021/4/26】
6	ケンファクタ皮下注ペン 119	注	20mg	劇	230,860.0	ノバルティスファーマ	Ofatumumab(Genetical Recombination) 多発性硬化症治療剤(ヒト型抗CD20 ϵ / κ ローナル抗体) ★多発性硬化症に対する初めてのB細胞を標的とした完全ヒト抗CD20 ϵ / κ ローナル抗体製剤 ★本剤は、B細胞及び一部T細胞サブセット表面に発現したCD20に特異的に結合し、補体依存性細胞傷害(CDC)活性及び抗体依存性細胞傷害(ADCC)活性により標的細胞を溶解させることにより免疫反応を抑制し、炎症性脱髄の形成及び進行を抑制する ★安全かつ簡便な投与を可能とするペン型のオートインジェクター製剤 ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2021/5/24】
6	サーキサ点滴静注 429	注	100mg	劇 ハイリスク	64,699.0	サファイ	Isatuximab (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(抗CD38 ϵ / κ ローナル抗体) ★腫瘍細胞表面に発現しているCD38に結合することで腫瘍の増殖を抑制する抗CD38 ϵ / κ ローナル抗体 ★再発又は難治性の多発性骨髄腫に対する適応あり ★ホマリド [®] トおよびテキサメタゾンの併用療法 ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2020/8/31】
6			500mg		285,944.0		
6	ゼオマイン筋注用 122	注	200単位	毒	68,922.0	帝人ファーマ	Incobotulinumtoxin A 上肢・下肢痙縮治療剤(A型ボツリス毒素製剤) ★菌体由来の複合タンパク質を含有しないA型ボツリス毒素製剤 ★従来製剤(ボトックス [®] 注)の約半分の薬価で治療が可能となり、症状に応じて再投与の投与間隔を10週まで短くすることができる 【発売:2020/12/4】

6	ツベルミン 622	錠	100mg	-	134.8	Meiji Seikaファ ルマ	Ethionamide 結核化学療法剤 ★イソニアジド耐性菌に有効である ★Second-line drugsとしてリファンピシンが使用できない場合に選択 ★ストレプトマイシン、イソニアジド、パラアミノサルチル酸等の抗結核薬との間に交差耐性が認められていない ★副作用防止のために腸溶性皮膜を施した腸溶性フィルムコート錠である ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2009/2/1】
6	プロラム口腔用液 113	外用	7.5mg	向	2,750.0	武田薬品工業	Midazolam 抗けいれん剤 ★小児けいれん重積治療がドライン 2017において、日本での病院初期治療に位置づけられている。英国の NICE がドライン では、病院前治療及び病院初期治療に位置づけられている ★重大な副作用としては呼吸抑制(無呼吸、呼吸困難、呼吸停止等)が発現するおそれがある ★本剤は、国内初のミダゾラム類粘粘膜投与のプレフィルドシリンジで、医療従事者/介護者による投与が可能である ※同成分薬:プロラム口腔用液2.5mg、5mgが臨時採用薬として採用あり ※緊急購入薬として購入歴あり 【発売:2020/12/10】
6			10mg		3,474.6		
6	ポマリスト 429	cap	1mg	毒 ハイスク	43,414.1	セルジーン	Pomalidomide 抗悪性腫瘍剤 ★本剤は、再発又は難治性の多発性骨髄腫に対する経口投与可能な治療薬 ★免疫調節薬(IMiDs)であり、サイトカイン産生制御などの免疫調節作用、腫瘍細胞に対する増殖抑制作用、血管新生阻害作用などを併せ持つ ★臨床試験ではレナリドミドとボルテゾミドによる治療が不良となった多発性骨髄腫に対して有用性が確認された ※緊急購入薬として申請・購入歴あり 【発売:2015/5/21】
6			2mg		51,742.8		
6			3mg		57,337.0		
6			4mg		61,669.3		

⑦院外専用医薬品(合計3品目)

採用 区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	トラマト 114	錠	50mg	劇	61.2	日本臓器製薬	Tramadol Hydrochloride 慢性疼痛治療剤(トラマトール製剤) ★本剤は慢性疼痛の効能をもち、速放と徐放の性質を併もつ1日2回投与の用法で開発されたトラマトール製剤 ★異なる試験間の比較ではあるものの、1日1回製剤よりも速やかにCmaxへ到達し、かつ1日4回製剤よりも血中濃度の持続性が期待できる特性を有している ★既承認の製剤と比較して、1日4回製剤よりアドヒアランスの向上が期待できること、1日1回製剤であれば経験する鎮痛効果の切れ目が少ないと考えられる 【発売:2021/1/8】
7			100mg		107.7		
7	ヘージニオ 429	錠	150mg	劇 ハイスク	8,616.8	日本イーライリリー	Abemaciclib 抗悪性腫瘍剤(CDK4及び6阻害剤/乳癌治療剤) ★エドリス錠50mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2018/11/30】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計1品目)

採用 区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	スベニールテイスホ関節注	注	25mg	-	ジョイフル関節注30mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計10品目)

2021年8月3日に削除または移行予定

採用 区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アスベリン	シロップ	0.5%	-	サブシル散分包500mg採用のため、削除
6	アドベイト	注	250mg	特生	販売中止のため削除
1	乾燥酵母Eピオス	内用	-	-	ナーブロック筋注2500単位採用のため、削除
1	献血ホリグロビン10%静注	注	5g/50mL	特生	ビリグイエン10%点滴静注20g/200mL採用のため、削除
1	親水クリーム「ニココー」	外用	500g	-	キャパロン注0.05%採用のため、削除
1	ドブトレックス点滴静注用	注	200mg	劇 ハイスク	ドブホン注0.3%シリンジ採用のため、削除 ※他規格のドブトレックス点滴静注用600mg、ドブトレックス注射液100mgが常備薬として採用あり
1	ピソルボン	細粒	2%	-	ビリグイエン10%静注5g/50mL採用のため、削除
7	ヘイスン	錠	0.2	劇	ハクスマー一点鼻粉末剤3mg採用のため、削除 ※後発品(ホケリホースOD錠0.2mg「マイラン」)が常備薬として採用あり
7			0.3	ハイスク	リベルサス錠14mgのため、削除 ※後発品(ホケリホースOD錠0.3mg「マイラン」)が常備薬として採用あり
1	ヘージニオ	錠	150mg	劇 ハイスク	エドリス錠50mg採用のため、区分7へ移行 ※他規格のヘージニオ錠50mgが院外専用医薬品として採用あり

【4】報告事項

1)緊急購入薬の薬剤部長承認について

⑨緊急購入医薬品(合計17品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
9	エムガルティ皮下注シリンジ 119	注	120mg	-	44,940.0	第一三共	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
9	ケンブタ皮下注ペン 119	注	20mg	劇	230,860.0	ノバルティスファーマ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
9	サーカサ点滴静注 429	注	100mg	劇	64,699.0	サファイ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
9			500mg	ハイリスク	285,944.0		
9	チラーヂンS静注液 243	注	200μg	劇	20,211.0	あすか製薬	Levothyroxine Sodium Hydrate 甲状腺ホルモン製剤 ★国内初の静脈投与可能な甲状腺ホルモン製剤 【発売:2020/6/29】
9	ツベルミン 622	錠	100mg	-	134.8	Meiji Seikaファルマ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
9	ニラロー 429	cap	3mg	毒 ハイリスク	125,640.0	武田薬品工業	Ixazomib Citrate 抗悪性腫瘍剤(プロテアソーム阻害剤) ★経口のプロテアソーム阻害剤 ★単独投与による維持療法として、自家造血幹細胞移植施行後の初発の多発性骨髄腫患者の無増悪生存期間を有意に延長させた 【発売:2017/5/24】
9	ノボセパンHI静注用シリンジ 634	注	5mg	生	406,316.0	ノボルティスク ファーマ	Eptacog Alfa(Activated) (Genetical Recombination) 遺伝子組換え活性化型血液凝固第Ⅶ因子製剤 ★インヒターを保有する血友病患者において本剤で速やかな止血が行える 【発売:2015/1/9】
9	プロラム口腔用液 113	外用	7.5mg	向	2,750.0	武田薬品工業	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
9			10mg		3,474.6		
9	ベネクレスタ 429	錠	10mg	劇 ハイリスク	872.8	アッヴィ合同会社	Venetoclax 抗悪性腫瘍剤(BCL-2阻害剤) ★本剤は、アポトーシス抑制作用を有する、B細胞性リンパ腫-2(BCL-2)に結合することで、抗アポトーシス作用を阻害することにより、腫瘍細胞のアポトーシスを誘導する ★1日1回経口投与の低分子化合物 【発売:2019/11/22】
9			50mg		3,956.6		
9			100mg		7,585.9		
9	ホマリスト 429	cap	1mg	毒 ハイリスク	43,414.1	セルジーン	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
9			2mg		51,742.8		
9			3mg		57,337.0		
9			4mg		61,669.3		

※緊急購入医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)供給停止に伴う代替薬の採用等

現在

代替薬

(後)イルソグラジンマレイン酸塩錠2mg「日医工」(9.9円)	→	(先)ガスロンN錠2mg(19.2円)※一時的採用	在庫が無くなり次第切替
(後)テモカプリル塩酸塩錠2mg「日医工」(22.3円)	→	(先)エースコール錠2mg(53.7円)※一時的採用	在庫が無くなり次第切替
(後)トフィソパム錠50mg「日医工」(5.9円)	→	院内処方是他社後発医薬品。院外処方のみ一時的に一般名処方	在庫が無くなり次第切替
(後)ニセルゴリン錠錠5mg「日医工」(9.8円)	→	院内処方是他社後発医薬品。院外処方のみ一時的に一般名処方	在庫が無くなり次第切替
(後)ニフェジピンL錠20mg「日医工」(5.9円)	→	院内処方是他社後発医薬品。院外処方のみ一時的に一般名処方	在庫が無くなり次第切替
(後)ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「日医工」(5.9円)	→	(先)ラキソベロン錠2.5mg(7.2円)※一時的採用	在庫が無くなり次第切替
(後)ブシラミン錠100mg「日医工」(20.4円)	→	院内処方是他社後発医薬品。院外処方のみ一時的に一般名処方	在庫が無くなり次第切替
(後)プリミドン錠250mg「日医工」(8.9円)	→	(既採用品)プリミドン細粒99.5%「日医工」(27.8円/g)	在庫が無くなり次第 オーダー停止
(後)プロプラノロール塩酸塩錠10mg「日医工」(6.4円)	→	(先)インデラル錠10mg(11.6円)※一時的採用	在庫が無くなり次第切替
(後)プロムヘキシン塩酸塩錠4mg「日医工」(5.1円)	→	(既採用品)(後)アンブロキシール塩酸塩錠15mg「日新」(5.7円/g)	在庫が無くなり次第 オーダー停止
(後)ロフラゼパ酸エチル錠1mg「日医工」(5.9円)	→	(先)メイラックス錠1mg(13.5円)※一時的採用	在庫が無くなり次第切替

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:緊急購入医薬品)